

# 尾瀬燧ヶ岳山行報告

【山行日】2025年 10月 12~13日(日月)

【集合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費用】マイカー1台 : 17,000円

【メンバー】CL:鈴木 SL:島田

飯野、田崎、根本、野口、渡邊力

12日 晴れ 御池登山口より広沢田代、熊沢田代を経由し俎嵩と柴安嵩に登頂後見晴新道を下り、下田代十字路から温泉小屋まで行って宿泊。

栃木市運動公園P4:00=御池 P6:30/7:00~広沢田代

8:00~熊沢田代 8:50/9:00~俎嵩 10:40/10:50~

柴安嵩 11:15/11:55~下田代十字路トイレ 14:40/15:00~温泉小屋 15:40



5年前の同じ時期に今回と同じコースを計画したが、コロナで温泉小屋が休館となり実現できなかった。とても楽しみにしていたが天気予報が雨の予報で、前日まで鳩待峠から尾瀬ヶ原に変更するか迷っていた。前日の午後の天気予報で燧ヶ岳が曇り後晴れの予報に変り、予定通り御池から燧ヶ岳に登ることにした。栃木市運動公園を4:00に出発し、予定通り御池の駐車場に着く。天気が良くない予報だった為か、広い駐車場には半分以上空きスペースが有った。出発の準備を整え、トイレとストレッチを済ませたら出発する。駐車場の奥が登山口になっていて、直ぐに分岐があり標識に従って左に燧ヶ岳に向かって進む。樹林帯の中、岩がゴロゴロして歩きにくい道を緩やかに登って行く。しだいに傾斜がきつくなり、木の根や大きな岩の段差を越えて登って行く。泥土の滑りやすい道に足を滑らせないよう慎重に登って行く。途中、少し広い場所で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。ここからも泥土の急坂



を登り、傾斜が緩んで木道が出てくると間もなく視界が開け広沢田代に着く。のびやかな湿原の中ほどにベンチがあり、満員だったが強引に割り込んで休憩する。先客がベンチを空けてくれ、ベンチに腰かけて景色を楽しむ。今日のコースは広沢田代と熊沢田代の素晴らしい傾斜湿原を歩き、俎嵩と柴安嵩の山頂からの眺望が得られる人気のコースである。見事な草紅葉を楽しみながら湿原を歩き、再び樹林帯の急坂を登るようになる。急坂を50分程登ると

視界が開け、再び広大な傾斜湿原が現れる。

あまりの美しさに後ろから「スーさんこんな素敵な場所に案内してくれありがとう！」と声が掛かり、CLとしてとてもうれしく思えた。ここでも中央部のベンチで休憩し、黄金色の草紅葉を楽しみながらナシをいただく。周囲の展望も良く黄金色ののびやかな湿原は素晴らしい、見ていて飽きない美しさである。

湿原の南端から階段状の木道を登って行き、振り返ると黄金色の草紅葉に池塘が映えとても美しい。この先は灌木帯の登りになり、やがて溝状のガレ



た道を登るようになる。小さな沢を2つ渡り赤茶けた火山灰の斜面をトラバースし、さらに岩のゴツゴツした斜面を登ると燧ヶ岳山頂の一つ俎嵩出る。俎嵩には一等三角点や祠が置かれ、360度の大パノラマが迎えてくれる。狭い山頂は大勢の登山者で賑わっており、写真を撮るのも順番待ちである。

記念写真を撮ったら展望を楽しみ、尾瀬沼やミノブチ岳、これから登る柴安嵐の眺望が素晴らしい。



図上に雨の日は使わないよう書かれている。最初は尾瀬ヶ原を見ながらハイマツの道を下り快適だが、次第に急傾斜のザレた道を下るようになり気が抜けない。さらに下るとオオシラビソやコメツガの樹林帯の道になり、ドロドロの泥濘の道を下るようになる。気を抜くと靴が泥水にはまるので、石や木の根に靴を置きながら慎重に下って行く。泥沼の下りが延々と続き、ようやく傾斜が緩くなると泥沼から解放されて尾瀬沼からの道に出る。分岐を右に進みしばらく進むとキャンプ場への分岐が有り、左にキャンプ場へと向かう。キャンプ場のトイレを使用し、疲れた足を休めたら温泉小屋へ向かう。

展望を楽しんだら西側に聳える柴安嵐に向かう。一旦鞍部まで下るが、登ってくる登山者も多くすれ違いに時間が掛かる。鞍部から登り返すが、こちらも下って来る登山者が多く待ちながら登つて行く。最後の大きな岩を2箇所ほど越えると、柴安嵐山頂の石碑が建つ尾瀬の最高峰に着く。柴安嵐の山頂は広く遮るもののが無い展望は、時間が経つのを忘れてしまほど素晴らしい。展望を楽しみながらランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作つておにぎりやパンをいただく。ここから下りに使う見晴新道は泥濘が多く、地



キャンプ場から見晴十字路に向かい、弥四郎小屋の前の湧水で喉を潤し一息いれる。ここから尾瀬ヶ原の東端に付けられた木道を進み、ヤマウルシやドウダンの紅葉を楽しみながら歩いて行く。

やがて東電小屋からの道を左に分け、一段登ると小さな湿原を横切りさらに一段登ると赤田代の湿原に出る。赤ナグレ沢の小さな流れを渡ると、湿原の向こうに温泉小屋の建物が見える。温泉小屋に着き本館で受付を済ませ、我々は別館に2部屋に分かれて案内される。入口の脇に洗い場が有り、泥で汚れた靴やスパッツを洗つてから部屋に入る。部屋で荷物を整理したら温泉に向かい、温かい温泉に浸かって疲れた体を癒した。この楽しみがあるので温泉小屋を予約したのである。出来れば温泉に浸かつた後、外のパラソル付のイスで生ビールを飲みたかったが、到着が遅れたのでロビーで飲むことにする。夕食まで20分しかないがとりあえず乾杯し、楽しい反省会が始まった。直ぐに夕食の案内があり、ビールを持って夕食のテーブルに移動する。

夕食のおかずを肴にビールやお酒を飲み、楽しかった登りの話や辛かった下りの話で大いに盛り上がった。夕食の時間が終わったらロビーに移動し、7時まで楽しいお話しをして部屋に戻り床に就いた。

**13日 曇り後雨 温泉小屋から平滑ノ滝と三条の滝を経由し、燧裏林道を下つて御池に下山し、桧枝岐の裁ち蕎麦を食して栃木市運動公園へ帰着する。**

温泉小屋 7:00～平滑ノ滝 7:15/7:25～三条の滝 8:00/8:20～兎田代 8:50/9:05～天神田代 10:10/10:20  
～上田代 11:00/11:10～御池 P11:45/12:05～開山 12:30/13:10～道の駅「たじま」13:50/14:05～  
道の駅「しおばら」14:35/14:40～栃木市運動公園P15:50

朝5:00に起床し外に出ると、曇りで霧が掛かっていた。出掛ける準備をしていた方に、「今日の天気予報はどうなっていますか？」と聞くと「10時頃から小雨の予報でした」との返事。朝食を6時からいただき、天気予報が10時頃から小雨の予報なので、尾瀬ヶ原周遊は止めて三条の滝に向かいますと伝える。朝食が済んだら出発の準備を整え、小屋の前でストレッチを行いつつ出発する。木道を歩きすぐに分岐があり、右は御池に直接向かう段吉新道で三条の滝へは左に進む。樹林帯の道を進み、木の根や岩の段差、ハシゴを下ると平滑ノ滝展望台に出る。岩頭の展望台から平滑ノ滝を眺め、川幅いっぱいに流れる滝は水量が豊富で素晴らしい。少し戻って岩場をハシゴで下り、直ぐに沢を渡って急な斜面を横切るように下って行く。泥濘もあるが昨日の見晴新道の歩きからすると、天国のような登山道である。急な下りに行くとすぐに大ソリ沢に出て、木橋を渡って登り返すと兎田代への分岐に出る。左に進み緩やかなトラバース道を少し行くと急坂を下るようになり、さらにハシゴやクサリを頼りに下ると三条の滝展望台に出る。展望台から見る三条の滝は水量が多く豪快で、落差90mの滝は見事である。我々だけの貸切で眺め、皆さんも満足そうにスマホに収めていた。やがて3名の登山者が降りて来て、昨日のコースや今日の行き先を話し出発する。兎田代分岐まで往路を戻り、分岐を左に急坂を登って行く。本日のコース一番の登りで、途中から小雨が降り出し「エ～予報より早いじゃん」と文句を言いながら登って行く。傾斜が緩くなると兎田代に着き、入口のブナの大木の下でレインウェアの上衣を着る。上衣だけで良いと思っていたら少し雨が強くなり、ズボンを穿いてザックカバーも付けた。兎田代の木道を歩いて行くと、ドウダンツツジの紅葉が美しい。兎田代を過ぎると渋沢温泉小屋への分岐が有り、ここは右に燧裏林道を進む。ブナの樹林の中を緩やかにアップダウンを繰り返し進み、シポッ沢を吊り橋で渡り小休止する。ここからゆるやかに登ると天神田代に出て、渋沢温泉小屋からの道と合流する。ここからは緩やかに下って行き、幅広い木製の階段を下って行く。ノメリ田代から横田代、上田代と湿原が続き、草紅葉とドウダンツツジの赤、オオシラビソの緑のコントラストがとても美しい。雨が上がり皆さんも写真タイムで立ち止まり、それぞれのスマホに絶景を収めていた。上田代からも木製の階段を下って行き、広い湿原に出てシカ避けのネットをくぐって湿原に入る。ここは最後の御池田代で、シカ避けネットを出ると間もなく燧ヶ岳への分岐出て、直進して階段状の道を登ると御池駐車場に着く。車に着いたら靴を履き替え、レインウェアを脱いでトイレを済ませる。青空も見え陽射しも出て、駐車場の周囲の紅葉が美しい。昨日出発するときはあまり見られなかつたが、晴れて陽射しを受けると紅葉が映えて一段と美しく見える。車に乗ったら帰路に着き、途中桧枝岐の蕎麦屋「開山」で昼食をいただく。



朝5:00に起床し外に出ると、曇りで霧が掛かっていた。出掛ける準備をしていた方に、「今日の天気予報はどうなっていますか？」と聞くと「10時頃から小雨の予報でした」との返事。朝食を6時からいただき、天気予報が10時頃から小雨の予報なので、尾瀬ヶ原周遊は止めて三条の滝に向かいますと伝える。朝食が済んだら出発の準備を整え、小屋の前でストレッチを行いつつ出発する。木道を歩きすぐに分岐があり、右は御池に直接向かう段吉新道で三条の滝へは左に進む。樹林帯の道を進み、木の根や岩の段差、ハシゴを下ると平滑ノ滝展望台に出る。岩頭の展望台から平滑ノ滝を眺め、川幅いっぱいに流れる滝は水量が豊富で素晴らしい。少し戻って岩場をハシゴで下り、直ぐに沢を渡って急な斜面を横切るように下って行く。泥濘もあるが昨日の見晴新道の歩きからすると、天国のような登山道である。急な下りに行くとすぐに大ソリ沢に出て、木橋を渡って登り返すと兎田代への分岐に出る。左に進み緩やかなトラバース道を少し行くと急坂を下るようになり、さらにハシゴやクサリを頼りに下ると三条の滝展望台に出る。展望台から見る三条の滝は水量が多く豪快で、落差90mの滝は見事である。我々だけの貸切で眺め、皆さんも満足そうにスマホに収めていた。やがて3名の登山者が降りて来て、昨日のコースや今日の行き先を話し出発する。兎田代分岐まで往路を戻り、分岐を左に急坂を登って行く。本日のコース一番の登りで、途中から小雨が降り出し「エ～予報より早いじゃん」と文句を言いながら登って行く。傾斜が緩くなると兎田代に着き、入口のブナの大木の下でレインウェアの上衣を着る。上衣だけで良いと思っていたら少し雨が強くなり、ズボンを穿いてザックカバーも付けた。兎田代の木道を歩いて行くと、ドウダンツツジの紅葉が美しい。兎田代を過ぎると渋沢温泉小屋への分岐が有り、ここは右に燧裏林道を進む。ブナの樹林の中を緩やかにアップダウンを繰り返し進み、シポッ沢を吊り橋で渡り小休止する。ここからゆるやかに登ると天神田代に出て、渋沢温泉小屋からの道と合流する。ここからは緩やかに下って行き、幅広い木製の階段を下って行く。ノメリ田代から横田代、上田代と湿原が続き、草紅葉とドウダンツツジの赤、オオシラビソの緑のコントラストがとても美しい。雨が上がり皆さんも写真タイムで立ち止まり、それぞれのスマホに絶景を収めていた。上田代からも木製の階段を下って行き、広い湿原に出てシカ避けのネットをくぐって湿原に入る。ここは最後の御池田代で、シカ避けネットを出ると間もなく燧ヶ岳への分岐出て、直進して階段状の道を登ると御池駐車場に着く。車に着いたら靴を履き替え、レインウェアを脱いでトイレを済ませる。青空も見え陽射しも出て、駐車場の周囲の紅葉が美しい。昨日出発するときはあまり見られなかつたが、晴れて陽射しを受けると紅葉が映えて一段と美しく見える。車に乗ったら帰路に着き、途中桧枝岐の蕎麦屋「開山」で昼食をいただく。



ぐに沢を渡って急な斜面を横切るように下って行く。泥濘もあるが昨日の見晴新道の歩きからすると、天国のような登山道である。急な下りに行くとすぐに大ソリ沢に出て、木橋を渡って登り返すと兎田代への分岐に出る。左に進み緩やかなトラバース道を少し行くと急坂を下るようになり、さらにハシゴやクサリを頼りに下ると三条の滝展望台に出る。展望台から見る三条の滝は水量が多く豪快で、落差90mの滝は見事である。我々だけの貸切で眺め、皆さんも満足そうにスマホに収めていた。やがて3名の登山者が降りて来て、昨日のコースや今日の行き先を話し出発する。兎田代分岐まで往路を戻り、分岐を左に急坂を登って行く。本日のコース一番の登りで、途中から小雨が降り出し「エ～予報より早いじゃん」と文句を言いながら登って行く。傾斜が緩くなると兎田代に着き、入口のブナの大木の下でレインウェアの上衣を着る。上衣だけで良いと思っていたら少し雨が強くなり、ズボンを穿いてザックカバーも付けた。兎田代の木道を歩いて行くと、ドウダンツツジの紅葉が美しい。兎田代を過ぎると渋沢温泉小屋への分岐が有り、ここは右に燧裏林道を進む。ブナの樹林の中を緩やかにアップダウンを繰り返し進み、シポッ沢を吊り橋で渡り小休止する。ここからゆるやかに登ると天神田代に出て、渋沢温泉小屋からの道と合流する。ここからは緩やかに下って行き、幅広い木製の階段を下って行く。ノメリ田代から横田代、上田代と湿原が続き、草紅葉とドウダンツツジの赤、オオシラビソの緑のコントラストがとても美しい。雨が上がり皆さんも写真タイムで立ち止まり、それぞれのスマホに絶景を収めていた。上田代からも木製の階段を下って行き、広い湿原に出てシカ避けのネットをくぐって湿原に入る。ここは最後の御池田代で、シカ避けネットを出ると間もなく燧ヶ岳への分岐出て、直進して階段状の道を登ると御池駐車場に着く。車に着いたら靴を履き替え、レインウェアを脱いでトイレを済ませる。青空も見え陽射しも出て、駐車場の周囲の紅葉が美しい。昨日出発するときはあまり見られなかつたが、晴れて陽射しを受けると紅葉が映えて一段と美しく見える。車に乗ったら帰路に着き、途中桧枝岐の蕎麦屋「開山」で昼食をいただく。



ぐに沢を渡って急な斜面を横切るように下って行く。泥濘もあるが昨日の見晴新道の歩きからすると、天国のような登山道である。急な下りに行くとすぐに大ソリ沢に出て、木橋を渡って登り返すと兎田代への分岐に出る。左に進み緩やかなトラバース道を少し行くと急坂を下るようになり、さらにハシゴやクサリを頼りに下ると三条の滝展望台に出る。展望台から見る三条の滝は水量が多く豪快で、落差90mの滝は見事である。我々だけの貸切で眺め、皆さんも満足そうにスマホに収めていた。やがて3名の登山者が降りて来て、昨日のコースや今日の行き先を話し出発する。兎田代分岐まで往路を戻り、分岐を左に急坂を登って行く。本日のコース一番の登りで、途中から小雨が降り出し「エ～予報より早いじゃん」と文句を言いながら登って行く。傾斜が緩くなると兎田代に着き、入口のブナの大木の下でレインウェアの上衣を着る。上衣だけで良いと思っていたら少し雨が強くなり、ズボンを穿いてザックカバーも付けた。兎田代の木道を歩いて行くと、ドウダンツツジの紅葉が美しい。兎田代を過ぎると渋沢温泉小屋への分岐が有り、ここは右に燧裏林道を進む。ブナの樹林の中を緩やかにアップダウンを繰り返し進み、シポッ沢を吊り橋で渡り小休止する。ここからゆるやかに登ると天神田代に出て、渋沢温泉小屋からの道と合流する。ここからは緩やかに下って行き、幅広い木製の階段を下って行く。ノメリ田代から横田代、上田代と湿原が続き、草紅葉とドウダンツツジの赤、オオシラビソの緑のコントラストがとても美しい。雨が上がり皆さんも写真タイムで立ち止まり、それぞれのスマホに絶景を収めていた。上田代からも木製の階段を下って行き、広い湿原に出てシカ避けのネットをくぐって湿原に入る。ここは最後の御池田代で、シカ避けネットを出ると間もなく燧ヶ岳への分岐出て、直進して階段状の道を登ると御池駐車場に着く。車に着いたら靴を履き替え、レインウェアを脱いでトイレを済ませる。青空も見え陽射しも出て、駐車場の周囲の紅葉が美しい。昨日出発するときはあまり見られなかつたが、晴れて陽射しを受けると紅葉が映えて一段と美しく見える。車に乗ったら帰路に着き、途中桧枝岐の蕎麦屋「開山」で昼食をいただく。

車に着いたら靴を履き替え、レインウェアを脱いでトイレを済ませる。青空も見え陽射しも出て、駐車場の周囲の紅葉が美しい。昨日出発するときはあまり見られなかつたが、晴れて陽射しを受けると紅葉が映えて一段と美しく見える。車に乗ったら帰路に着き、途中桧枝岐の蕎麦屋「開山」で昼食をいただく。

店舗がリニューアルされて看板が小さくなつて分かりにくかつたが、場所は変わらないので何とか分かつた。内装も以前と変わり、靴を脱いで上がるようになつていた。テーブル席が空いていたので2つに分かれて座り、それぞれ蕎麦とはつとう、蕎麦と天ぷらのセットをオーダーする。蕎麦は十割の蕎麦で、はつとうも天ぷらも美味しいと皆満足したようだ。途中の道の駅「たじま」に寄つて買い物し、道の駅「しおばら」で高原大根を買いたいと寄つたが売り切れて無かつた。

皆さん残念そうだつたが諦めて帰路につき、西那須野塩原ICから東北道に入り予定より2時間30分早く栃木市運動公園に帰着した。